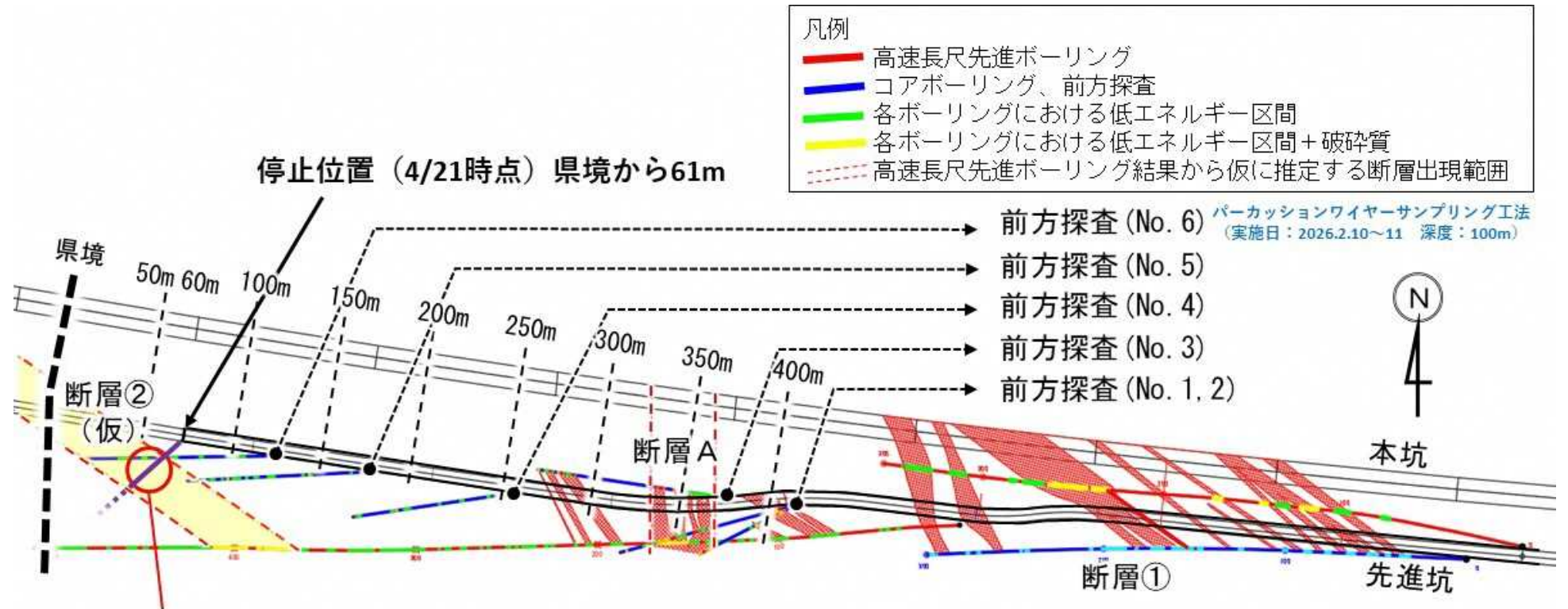


県境付近からの静岡県内の 高速長尺先進ボーリング調査の実施について

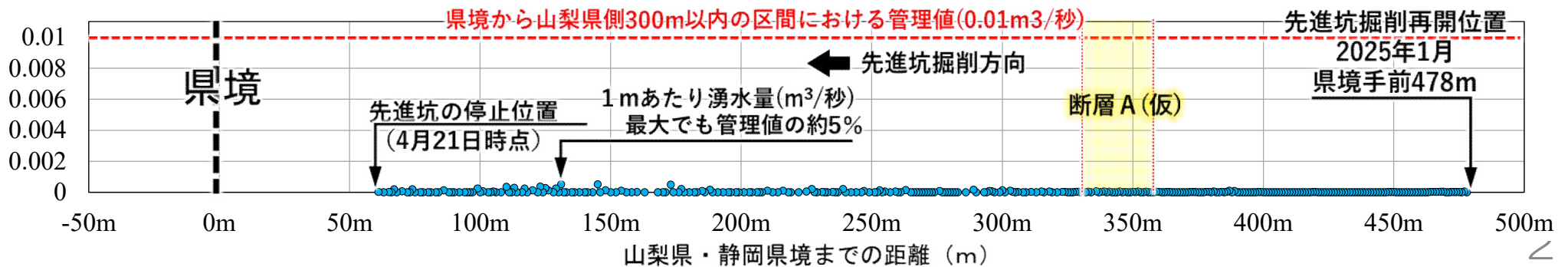
令和8年4月
東海旅客鉄道株式会社

山梨・静岡県境付近の先進坑

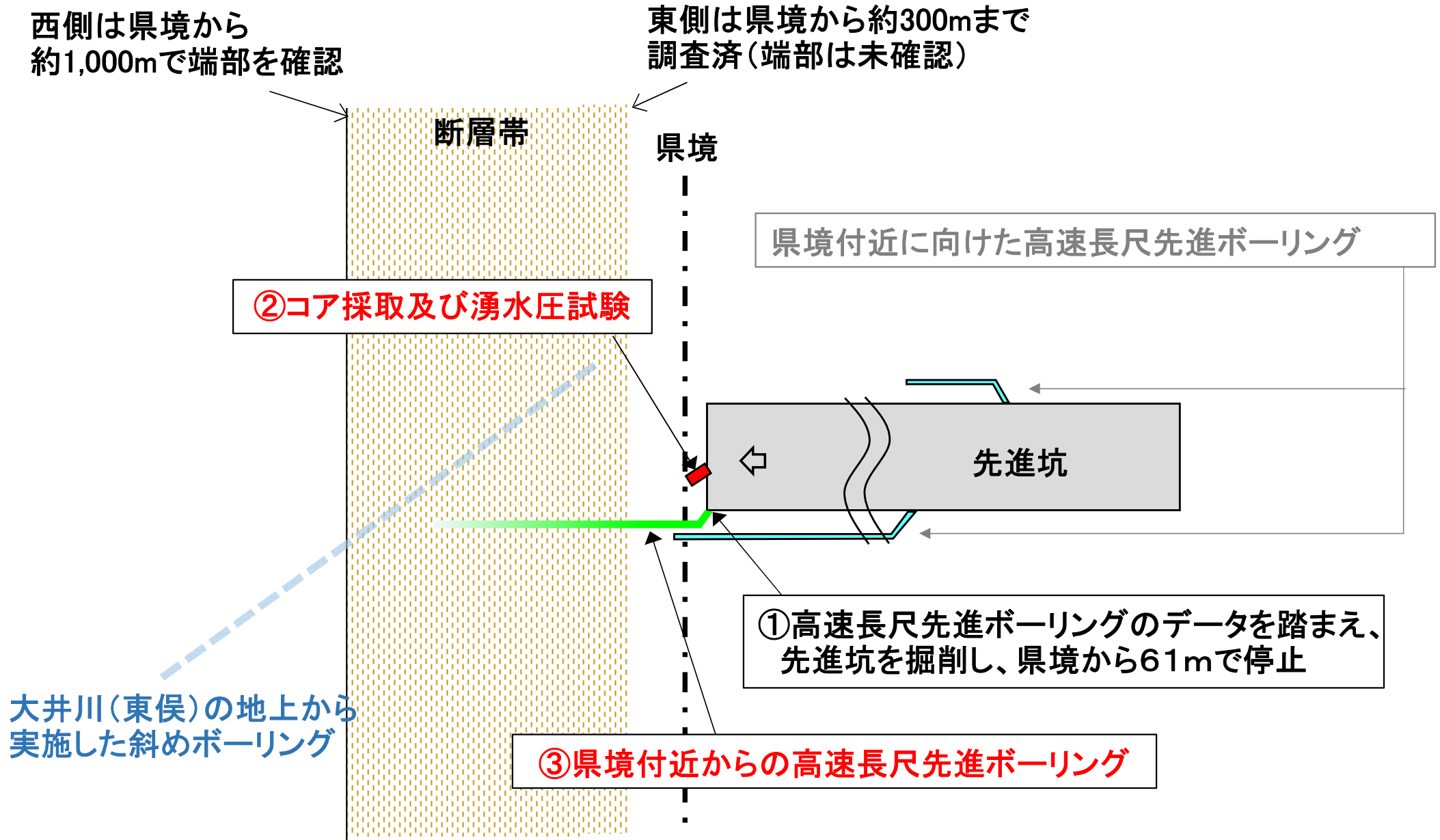
- 先進坑の掘削は、4月21日時点で、県境から山梨県側61mまで掘削し、停止しました。
- 湧水量について、管理値(1mあたり0.01m³/秒)と比較すると、最大でも管理値の約5%に留まり、湧水量は少ない状況でした。



前方探査 (ロータリー式) の実施イメージ
 ※断層②(仮)範囲内にて孔内湧水圧試験実施を目指す



今後の調査の計画



県境付近から実施する静岡県内の高速長尺先進ボーリング

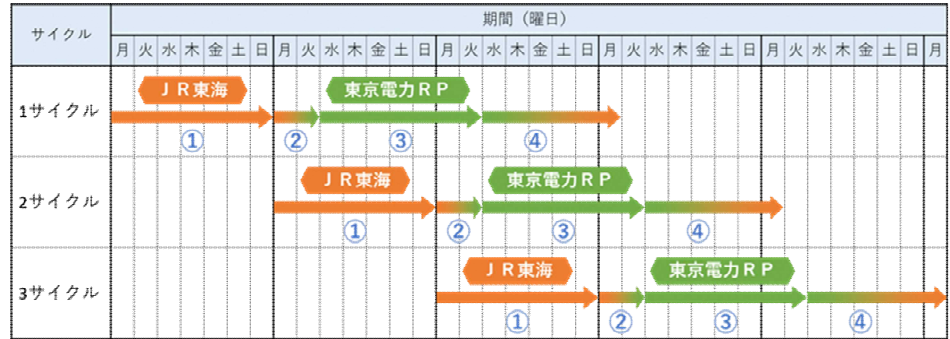
- 県境付近からの静岡県内の高速長尺先進ボーリングは、田代ダム取水停止期間終了後に実施します。
- この高速長尺先進ボーリングに伴い静岡県から県外へ流出する湧水量と同量を大井川へ戻す方策として、田代ダム取水抑制案を実施します。
 - 田代ダム取水抑制案は、第19回地質構造・水資源専門部会の「田代ダム取水抑制案」において示した方法を基本として実施します。
 - 県外流出量の計測方法は、第19回地質構造・水資源専門部会の「山梨・静岡県境の調査及び工事の計画について」において示した容器法による1日2回の計測により得られた孔口湧水量の最大値を県外流出量とします。
また、先進ボーリングの実施中は、電磁流量計にて湧水量の変動傾向を常時把握します。

第19回部会「資料1-2 田代ダム取水抑制案について」抜粋版

運用サイクルやオペレーションの詳細

- 1週間毎に取水抑制を実施することを基本として運用します。①県外流出量の測定、②取水抑制量の報告、③取水抑制の実施、④取水量・放流量の報告・確認までを1サイクル（約3週間）とし、繰り返し実施していきます。

- 東京電力リニューアブルパワー株式会社（以下、東京電力R P）により、大井川取水ダムの維持放流ゲートと集水用取水口の制水ゲートを制御し



①県外流出量の測定 ②取水抑制量の報告
③取水抑制の実施 ④取水量・放流量の報告・確認

図1 基本的な運用サイクル

ます。維持放流ゲートでは河川維持流量に取水抑制量を加えた量（最低放流量）以上に設定し放流するとともに、制水ゲートでは取水抑制を行わないとした場合に計画する取水量から取水抑制量を差し引いた量（集水用取水口最大取水量）以下に設定し取水します。

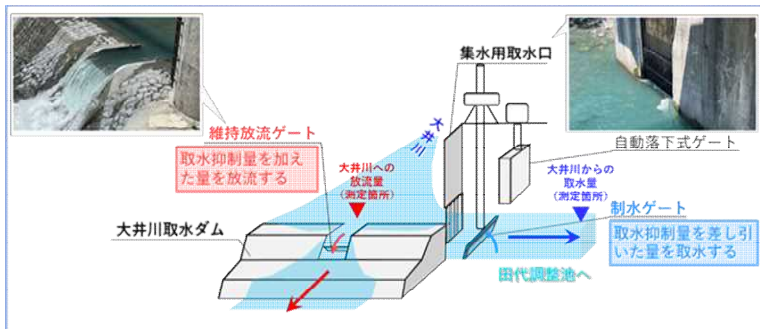


図2 取水抑制の実施

表1 期別の河川維持流量

期間	河川維持流量 (m³/秒)
12/6~3/19	0.43
3/20~4/30	0.98
5/1~8/31	1.49
9/1~12/5	1.08

- 測定結果について、「大井川への放流量が最低放流量を上回っていること」「大井川からの取水量が集水用取水口最大取水量を下回っていること」を確認します。

表2 測定結果の報告例

(単位: m³/秒)

日付	a) 県外流出量 (報告値)	放流量			取水量				i) 取水前の河川流量 (d+h)
		b) 河川維持流量 (規定値)	c) 最低放流量 (b+a)	d) 大井川への放流量 (測定値)	e) 第一取水口 許可取水量 (規定値)	f) 田代調整池への 直接流入量 (測定値)	g) 集水用取水口 最大取水量 (e-f-a)	h) 大井川からの 取水量 (測定値)	
10 水	0.2※	0.43	0.63	0.76	4.99	0.01	4.78	2.50	3.26
11 木				0.70		0.02	4.77	2.61	3.31
12 金				0.74		0.02	4.77	2.68	3.42
13 土				0.75		0.00	4.79	2.45	3.20
14 日				0.74		0.01	4.78	2.30	3.04
15 月				0.71		0.01	4.78	2.51	3.22
16 火				0.78		0.00	4.79	2.59	3.37
			週平均 0.63	週平均 0.74		週平均 4.78	週平均 2.52	週平均 3.26	

※前週（1日～7日）の測定値の週平均（小数点以下2桁切上げ）。↑ JR東海から東京電力RPへ取水抑制量として報告する値。

「c) 最低放流量 ≤ d) 大井川への放流量」を確認

「g) 集水用取水口最大取水量 ≥ h) 大井川からの取水量」を確認